

公益財団法人日本バレーボール協会 2011 年度第 5 回理事会(定例) 議事録

1 日 時 : 2011 年 10 月 19 日(水) 14 : 00~14 : 55

2 会 場 : 公益財団法人日本バレーボール協会 事務局内会議室(東京・渋谷区)

3 出席者 : 理事総数 19 名

出席理事 18 名

代表理事

中野泰三郎

理事

岩満一臣、下山隆志、森田淳悟、豊原祥徳、羽牟裕一郎、竹内浩、三屋裕子、大塚慶二郎、小島和行、富澤龍一、藤井重機、小野元之、堤義成、木村憲治、五十嵐三夫、橋口陽一、林義治

監事総数 3 名

出席監事 3 名

岡崎庄蔵、高橋治憲、大久保正明

4 議 長 : 代表理事 中野泰三郎

5 決議事項

第 1 号議案 第 2 期(2011 年度)補正予算について

第 2 号議案 事務局規程の改定について

6 議事の経過の要領及びその結果

定刻、代表理事が議長席に着き開会を宣し、本理事会は、定款第 41 条の規定に定める定足数を満たしており、適法に成立した旨を告げ、議事録記名押印理事に小野理事を選出。次の議案の審議に入った。

(1) 第 1 号議案 第 2 期(2011 年度)補正予算について

岩満業務執行理事事務局長より第 2 期(2011 年度)補正予算の提案趣旨について以下の説明がなされ、理事会は第 1 号議案「第 2 期(2011 年度)補正予算」について賛否を諮り、賛成 18 名、反対 0 名でこれを承認可決した。

第 2 期(2011 年 4 月 1 日から 2012 年 3 月 31 日まで)の当初予算は、収入 31 億 2,997 万 7 千円、支出 31 億 6,545 万 6 千円(含法人税等)、当期一般正味財産減少額(赤字額) 3,547 万 9 千円で編成した。

予算編成後の 3 月 11 日に東日本大震災が起こった。この震災は未曾有の出来事だっただけに、本会諸事業にも多大な影響を受け、上半期を終了した 9 月末時点の収支は 1 億 5,958 万

3千円の赤字（前年度上半期実績は1億1,304万4千円の黒字）となり、この結果、補正予算編成を余儀なくされる事態となった。

補正予算編成の内容は次のとおり。収入の主なものでは、協賛金の獲得見込み違いによる減額が5,315万円、東日本大震災によるVプレミアリーグファイナル開催中止、ワールドリーグ日本開催中止等に起因する入場料収入の減額が1億436万9千円、東日本大震災に対する支援要求（増額要求）交渉不成立によるFIVBワールドカップ業務受託料ほかによる減額が7,841万2千円となり、これらを合わせた減額合計を2億1,955万4千円とし、収入合計は29億1,042万3千円を計上した。支出の主なものでは、ワールドリーグ日本開催中止によりホームゲームがすべてアウェーゲームとなったため日本選手団の海外派遣費の増額が2,724万8千円、全国大会開催経費増額が2,719万2千円、減額はワールドリーグ日本開催中止による開催経費及びワールドカップ開催経費見直し等で1億7,516万7千円、Vプレミアリーグファイナル中止による開催経費減額が1,718万6千円、このほか諸々の経費削減を合わせた減額合計を1億5,429万5千円とし、支出合計は30億1,116万1千円（含法人税等）を計上した。この結果、補正による当期一般正味財産減少額（赤字額）は1億73万8千円となる。補正後の支出予算の内訳は、競技力向上事業費5億5,229万2千円、国際大会開催・国際貢献事業費16億191万円、講習会指導者等養成事業費5,783万2千円、全国大会開催事業費4億1,773万2千円、マーケティング事業費8,197万6千円、用具等公認、公認品販売事業費2,075万9千円、Vリーグ等開催事業費8,909万4千円、地域グループ育成事業費2,943万8千円、管理費1億6,005万8千円となる。

(2) 第2号議案 事務局規程の改定について

中野代表理事より別紙資料に基づき、事務局規程の改定について提案説明がなされ、理事会は第2号議案「事務局規程の改定」について賛否を諮り、賛成18名、反対0名でこれを承認可決した。

公益法人移行に伴い、諸規程について検討及び改定を進めているが、その一環として事務局規程に関して、改定部分を資料のように新旧対照表にまとめ提案する。

事務局規程は、事務局各事業部の業務分掌、決裁権限及びプロセス等を定めたものであり、事務局における事務の能率的な運営を図ることを目的としている。

改定は法人移行に伴う文言修正が主なものである。

7 報告事項

(1) 第2四半期の職務執行報告について

議長より、法令及び理事会運営規程に基づき代表理事及び業務執行理事から第2四半期の職務執行報告を行うとの説明があり、中野代表理事から順に8名の業務執行理事から職務執行報告が資料に基づき行われた。

主な報告内容は以下のとおりである。

中野代表理事

- ①JVA 運営の基本方針策定・トップの強化、底辺拡大など
- ②各事業本部の課題等、現状確認
- ③FIVB ワールドカップ(2015・2019)誘致活動
- ④アジア連盟(AVC)総会出席
- ⑤新規スポンサー獲得交渉

岩満業務執行理事 事務局長 業務推進事業本部本部長

- ①全国ブロック理事長会、全国連盟代表委員会の立ち上げ
- ②加盟団体、Vリーグ機構ほか関係団体との意見交換
- ③アジア連盟の役員改選に伴う事前調整
- ④アジア連盟総会における JVA の役割、貢献度のアピール
- ⑤競技者の権利利益の保護、安全確保対策の主体的取り組み

下山業務執行理事 国内事業本部本部長

- ①東日本大震災復旧支援活動
岩手、宮城、福島の3県を訪問、各県協会と支援内容協議
- ②国内事業本部の職務遂行を視野に必要な委員会設置
- ③国内事業本部会会議の開催
- ④全国ブロック理事長会、全国連盟代表委員会の開催
- ⑤国内事業本部内の課題整理
- ⑥天皇杯・皇后杯全日本選手権大会の現状把握と改善点洗い出し
- ⑦国民体育大会におけるビーチバレー正式種目採用について日本体育協会に申請

森田業務執行理事 強化事業本部本部長

- ①強化事業本部会の開催
- ②強化事業本部の職務遂行を担う委員会設置
- ③JOC マルチサポートのテストチーム認定の申請
- ④拡大強化事業本部会の開催・男子各日本代表監督の大会終了報告に基づく課題検討
- ⑤女子アジア選手権視察

豊原業務執行理事 M&M事業本部本部長

- ①JVA オフィシャルスポンサーへのプロモート

羽牟業務執行理事 国際事業本部本部長

- ①FIVB ワールドカップ 2011 開催準備
- ②FIVB ワールドグランプリ契約関連作業
- ③ボールバンク運営

④FIVB ワールドカップ(2015・2019)誘致活動

小島業務執行理事 国際事業本部副本部長

- ①FIVB ワールドカップ 2011 第 2 回インスペクション(6 月 13～18)後の調整活動
- ②Wei 国際バレーボール連盟会長来日に伴う受入調整
- ③FIVB ワールドカップ(2015・2019)誘致活動
- ④FIVB ワールドグランプリ 2011 日本開催大会運営業務
- ⑥FIVB ワールドカップ 2011 大会運営準備業務

五十嵐業務執行理事 業務推進事業本部副本部長

- ①諸規程の改定案作成
- ②JVA メンバー制度の登録料使途(配分率)の見直し案作成
- ③監査法人との監査実施計画策定
- ④経理的基礎及び技術的能力向上のための知識習得
- ⑤経理規程の周知・徹底業務

橋口業務執行理事 業務推進事業本部担当

- ①中野会長就任披露パーティー(7 月 20 日)準備
- ②JVA 中期計画策定のための各事業本部へのヒアリング
- ③役員賠償保険・個人情報保護保険の検討
- ④広報委員長として広報委員各位との意見交換
- ⑤ワールドグランプリ東京大会におけるマスメディア部業務
- ⑥新聞社やテレビ局との個別情報交換
- ⑦笹川スポーツ財団の研究会参加

以上をもって議事の全部の審議を終了したので、議長は 14 時 55 分、閉会を宣した。

なお、会議終了予定時間までの間を利用して、競技者の底辺拡大、アジア選手権開催の中期
的展望、JVA メンバー制度、JVA が当面する課題ほか、各理事間で自由活発な意見交換が行わ
れ、15 時 50 分、解散した。